

# 北山エリア整備に係るワークショップ（1回目）意見

## テーマ：府立大学共同体育館に望むこと

### 【1班】

- ・ 京都の体育館施設は少なくて取り合いになっているので、共同体育館ができるのを楽しみにしている。
- ・ ワークショップをしながら施設をつくったことがあり、そういうやり方は難しいけど興味がある。週に1回ジムに通っているので、小さく体を動かせる場所があったらいい。
- ・ どのような共同体育館がつけられるのか関心がある。国際的にも誇れて地域にも喜ばれるものができたらいい。
- ・ 地域の体育館で卓球をしている。大学の中にできる学生のための体育館でもあるので、こういったワークショップの場に、府大の学生が入っていて欲しい。外来種問題があるので、植物園を含めて、どういう動線になるのかが気になる。
- ・ 施設ができていく段階を体験したことがないので、ワークショップ自体に興味がある。
- ・ 3つの大学の大学生が使うと、府民が気楽に使う余裕がないのではと感じる。まずは、今、どういう使い方をされているのかを正確に提示することが大前提で大事なのではと思う。
- ・ 小さな体育館がたくさんある方が地域住民としては使いやすい。
- ・ 大会などでみんなが使いたいと思うタイミングには、予約が重なって使えないことが多いので、大きな体育館の需要はある。でも、植物園の横に1万人のアリーナがあるのは、違和感がある。
- ・ 中学校レベルなら学校の体育館でできるのだが、高校レベルの決勝大会などは、大きな体育館を連続で押さえる必要があり、それが現状、京都ではできない。決勝大会に使える場所や、スポーツで活躍できる拠点が、京都に欲しい。スポーツをやる子にとっては、誇りになると思う。ただし、大学生が使っていたら、高校生などは気軽に使えないので、データを見て一度整理する必要があると思う。

- ・ スポーツ大会への出場やスポーツの観覧のための体育館と、近所の人が行く地域の体育館は、それぞれ役割が違う。前者は京都にないのが残念。移動観覧席を入れるなど、あまり大きくしなくても対応できる方法をとってもいいのではないか。
- ・ ワンゲルやクライミングなど、自然に親しむスポーツ施設にする  
とよいのではないか。
- ・ 大学時代、卒業生のアスリートが大学の体育館を使っていた。大学生がバスケやバレー、ブレイクダンスなどの、地域に開かれたコミュニティを持つ場になるといい。自分の大学で地域コミュニティに関わることで、愛着も湧く。フィットネスや芝生広場などもあるといい。
- ・ 地域の高校生に開かれると嬉しい。大学生と高校生が混じる方法が、何かあるのではないか。
- ・ 甲子園のようなあこがれの場所になる体育館を目指すのもアリだと思う。コンサートなどもできる。
- ・ 地域でスポーツに親しめる場所が必要とされているので、これから地域の体育館や、総合型地域スポーツクラブなどが増えていくのではないかと思う。
- ・ 災害のときに逃げ場になったり、雨天でも体育館内を走れるので、いっそ地下にした方がいいかもしれない。地下は地上の3倍お金がかかるけど、地下とは限らなくても、地上の大事なもの、景観を残すためにどうすればいいか、考えていく必要がある。
- ・ 専門家などでしっかり揉んで、平等に情報を開示して欲しい。
- ・ 駐車場問題を解決する必要があるので、公共交通機関を使う文化を発信していくことも大事だと思う。SDGs とからめたキャンペーンを「京都式」として発信し、成功例となって欲しい。
- ・ 防音をしっかりするなど、周りに迷惑が掛からないようにいろいろ工夫し、ランニングコストを抑える作り方をしたい。
- ・ SDGs を考えた運営を、学生と一緒にやっていけたらいい。
- ・ 共同体育館の整備に 150 億円かかると知らない人も多い。
- ・ ワークショップに参加して、いろいろな見方があると実感した。このメンバーで話せてよかった。

## 【2班】

- ・ 3大学の調整はできるのか、どこが主体になって調整するのが気になる。
- ・ 現状、府大は運動系が活発ではないので、府大がメインで使ったとしても、余裕で工織大や医大も利用できると思う。
- ・ 各大学が体育館を持っているのに、共同体育館にする必要があるのか。
- ・ 3大学が使用した上で、地域利用もするとなると、競技団体は学生と競合することになり、入り込む余地、隙間があるのかが気になる。競技団体からの期待は大きい。ハンナリーズが使えるようにしたいのか。
- ・ 情報が少なく、学生や地域住民の不安が大きい。情報発信が不足しているように思う。
- ・ 北山エリアの植物園の木の伐採に、15万人が反対署名している。
- ・ 器だけでなく付帯設備も必要だが、規模はどれぐらいになるのか。島津アリーナで5,000人規模だが、税金を150億円かけて1万人規模の施設をつくる必要があるのか。維持費も大変だし、大学だけの使用なら不要だと思うが、拠点が必要なのか。
- ・ 各施設の老朽化対策については、共同で計画する必要がある。
- ・ 器械体操ユーザーとしては、サイズの問題はあるものの、1つは器具が欲しい。
- ・ 卓球の全国大会をやるには、4日間連続で体育館を使用する必要がある。
- ・ 3つの大学と、地域用途でも使うというのは、話を広げすぎではないか。
- ・ ボタンの掛け違いが起こっているように思う。
- ・ 植物園を大事にしたいだけで、15万人が体育館建設に反対しているわけではない。
- ・ 施設の使用については、競技団体の府レベルの会議や親睦会で情報を入手するが、経験に基づいてうまくいっているように思う。ほかに、各個人でインターネットなどを活用して情報を取りに行くこともある。

- ・ 府全体の立場で、北部地域のことも考慮に入れて考えて欲しい。
- ・ 府大生が 2,000 人いるので、体育館を地域で活用するには、キャパが少ないと思う。
- ・ 造るなら、メインエリアと、複数のサブエリアで展開して欲しい。
- ・ そもそのスタートとして、ターゲットが明確になっていないので、はっきりして欲しい。
- ・ 京都の体育館の数は、全国でワースト 5 に入っている。

### 【3班】

- ・ 京都市には大きな体育館がないので、新しい体育館は、大きいものができることを期待している。
- ・ 3つの大学が使うとなると、一般人が使える空きがあるのかが気になる。
- ・ 広すぎると、コートと観客の間に距離ができるので、臨場感が感じられなくなる。
- ・ 普段は広く使えたり、BリーグやTリーグにも対応したりするなど、多目的多用途で使えるように、観客席の形を変えられるようにしてはどうか。
- ・ 大学施設の中で、商業的にやるということについて、議論すべきこともあると思う。
- ・ 税金だけを財源とするのではなく、使った人がメンテナンス費用を払うような仕組みにしてはどうか。
- ・ 部活の顧問を大学生がやることで、大学と地域の交流を図るとともに、教員の時間外労働も削減できるのではないか。
- ・ スポーツは健康寿命にもつながるので、体育館やプールがあり、年中開いている、今のニーズに合うような施設になって欲しい。
- ・ 色々な人が大学内に入ることになるので、セキュリティの強化も必要だと思う。
- ・ 体育館は、土日は争奪戦になるので、大学ベースでどのくらい使うのかを知りたい。

- ・ 大阪府立体育館ぐらいの規模で、集客や施設維持は可能なのが気になる。最終的に帳尻があえばいいが、投入した税金を回収できるのだろうか。
- ・ 荷物が多いときのために、駅前に駐車場が欲しい。景観を守るために、大阪のように地下に駐車場をつくってもいいのではないか。京都市内の人はいいが、京都市外、京都府内の人はまだまだ車社会なので、駐車場は必要だと思う。
- ・ 体育館の着替えスペースにシャワーなどがあれば、賀茂川をランニングする人も利用すると思う。
- ・ 体育館には色々なスポーツのラインがごちゃごちゃ描かれているが、利用するスポーツに合わせて、そのラインが浮かび上がるような、デジタルな仕組みを取り入れてはどうか。テープを貼るのも、実はけっこう大変な作業になる。
- ・ 府民が気楽に使えるトレーニングルームや、雨の日でも走れる場所、専門性のあるスポーツができる設備が欲しい。
- ・ 広いのが一つで、スペースを分けてサブアリーナとしても使えるようにするのがいい。
- ・ メインアリーナとサブアリーナは、分けると移動がしづらいので、1つの建物内にある方がいい。1階と2階の2フロアにする手もある。
- ・ 京都駅は京都の玄関口なので、共同体育館へは京都駅から地下鉄で北山駅まで来て、そこからは地下道でつなげるなど、行きやすくして欲しい。地下鉄の利用者が増えると、収入もアップする。
- ・ 京都市立の地域の体育館は老朽化しているし、アマチュアスポーツよりママさんバレーが優先され、使える機会が限られている。
- ・ 府民が自分の健康を守るための場になって欲しい。
- ・ コートが1面だけでは大会が回らないので、面数は多い方がいい。